

土浦市歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	第2号	名称	郁文館の正門
指定年月日	令和6年12月25日	所在地	土浦市文京町3-1
所有者氏名	土浦市長	所有者住所	土浦市大和町9-1
建築年代	江戸時代 (天保10年(1839))	規模・構造	長屋門 寄棟 棧瓦葺
特徴等	土浦藩校の正門。形式は長屋門。寄棟、棧瓦葺で、木部表面に紅柄（酸化第二鉄）を塗布する。 江戸時代後期、全国各藩で藩政改革の一環として藩校の創設・拡充が行われる中、土浦藩では寛政11年（1799）に藩主土屋英直が二の丸に藩校を創設し、「郁文館」と命名した。天保10年（1839）に、現在地に文館・武館を移転しており、正門はそのときのものである。廃藩後は、英学校化成館、師範学校、旧制中学校、高等小学校と変遷し、昭和10年（1935）に門だけを残して解体され、跡地は土浦第一中学校の敷地になっている。		
指定理由	土浦市歴史的風致維持向上計画で「【城下威風】城下町の祭礼等にみる歴史的風致」及び「【郁文円環】学びと教えの楽しみにみる歴史的風致」に位置づけられており、八坂神社祇園祭の神輿渡御のルート上に位置すること、周囲では柔道、剣道など武道の活動が盛んであることなどから、歴史的風致の維持及び向上を図る上で重要な建造物となっているため。		
備考	市指定有形文化財、市景観重要建造物		

■写真



■ 位置図

